夕刊 臺灣新民報 昭和十八年八月二十九日 日曜日 第一万五千六百二十二號 A (一)

米英常套の空手形
佛解放委員會承認を附す
老獪、苛酷の條件を

【ブエノスアイレス二十七日發同盟】米英佛國民解放委員會は二十六日フランス、ド・ゴール將軍に對し「佛國解放軍總司令官」なる稱號を與へると共に次の如き「米英の空手形」を發しその實現を迫つてゐる

一、米英の承認は委員會自體の承認にとゞまりジロー、ド・ゴールその他フランス解放委員會關係者の地位には何等の保證も與へてゐない

二、フランス國民は解放委員會以外の政府を選ぶことを承認してゐる

一、戰爭的政策の場合米英兩國はフランス領土に關して如何なる目的にも出發しない

等々の條件としてゐるが、斯くてフランス解放委員會は米英の傀儡と共にフランス國民の承認に入る途を喪ふである、米英はフランス國民の承認を得ずしてフランス領土に關する軍事的決定を行つてゐるが、その實體の內容は既に明かであつて佛國解放委員會以外の政府を選ぶことを承認してゐる

一、戰爭的政策の場合米英兩國はフランス領土に關して如何なる目的にも出發しない

等々の條件としてゐるが、斯くてフランス解放委員會は米英の傀儡と共にフランス國民の承認に入る途を喪ふである、米英はフランス國民の承認を得ずしてフランス領土に關する軍事的決定を行つてゐるが、その實體の內容は既に明かであつて佛國解放委員會以外の政府を選ぶことを承認してゐる

勤報運營指導要領
勤勞動員劃期的な發足

【東京發】大東亞戰爭下に於ける決戰態勢の確立に即應し勤勞動員の徹底的强化を期し二十八日閣議の決定を經て勤勞動員實施要綱が發表された、これは昭和十八年度に於ける勤勞動員の基本方針を確立し之が實施に關する具體的事項を定めたもので、その內容は次の如くである

一、國民勤勞報國協力令の適用に關する件

一、國民をあらゆる角度に於ける一切の戰力化し戰爭目的の完遂に邁進せしめるため勤勞動員の强化、勤勞配置の適正化、勤勞管理の合理化、勞力の最中動員等を期すること

二、國民勤勞報國協力令の適用に關する件

一、國民をあらゆる角度に於ける一切の戰力化し戰爭目的の完遂に邁進せしめるため勤勞動員の强化、勤勞配置の適正化、勤勞管理の合理化、勞力の最中動員等を期すること

二、國民勤勞報國協力令の適用に關する件

一、國民をあらゆる角度に於ける一切の戰力化し戰爭目的の完遂に邁進せしめるため勤勞動員の强化、勤勞配置の適正化、勤勞管理の合理化、勞力の最中動員等を期すること

獨佛巨頭會見
ワイシー二十七日發同盟】フランス國民解放委員會ド・ゴール將軍は二十七日夜次の如きフランス國民に對する聲明を發した

産報勤勞隊を結成
轉換離職措置に萬全

【東京發】戰爭生産の飛躍的擴充に即應し勤勞動員の强化を期し二十八日閣議に於て決定された勤勞動員實施要綱に基き八月末までに全國的に結成されることになつた産報勤勞隊の結成に關する具體的方針は次の如くである

一、結成の時期

二十八日より九月末日までに全國的に結成を完了する

二、結成の單位

一、都道府縣單位

一、都道府縣單位に一元的に結成し之を統轄する

二、市町村單位

一、市町村單位に結成し之を統轄する

三、職場單位

一、職場單位に結成し之を統轄する

四、結成の方法

一、都道府縣單位の結成は都道府縣知事が都道府縣內の官公署、公共團體、會社、工場、鑛山、事業場、交通運輸業者、農業者、商業者、其の他の團體又は個人に對し勤勞隊の結成を命ずる

二、市町村單位の結成は都道府縣知事の指示に基き市町村長が都道府縣內の官公署、公共團體、會社、工場、鑛山、事業場、交通運輸業者、農業者、商業者、其の他の團體又は個人に對し勤勞隊の結成を命ずる

三、職場單位の結成は都道府縣知事又は市町村長の指示に基き職場の長が職場內の勤勞者に對し勤勞隊の結成を命ずる

四、結成の命令は文書を以て之を行ふ

五、勤勞隊の組織

一、勤勞隊は都道府縣單位の結成に在りては概ね千人、市町村單位の結成に在りては概ね百人を以て一隊とし之を統率する爲隊長、副隊長を置く

二、隊長は都道府縣單位の結成に在りては都道府縣知事が、市町村單位の結成に在りては市町村長が夫々適當と認むる者を指名して之に當らしむ

三、副隊長は隊長を補佐し隊長事故ある時は其の職務を代理する

四、隊長及副隊長は勤勞隊の結成を命ずる者の指揮を受け隊員を統率して勤勞に從事せしめ隊員の訓練に當る

五、隊長及副隊長は勤勞隊の結成を命ずる者の指揮を受け隊員を統率して勤勞に從事せしめ隊員の訓練に當る

六、隊員

一、隊員は都道府縣單位の結成に在りては都道府縣內の官公署、公共團體、會社、工場、鑛山、事業場、交通運輸業者、農業者、商業者、其の他の團體又は個人に對し勤勞隊の結成を命ずる者の指揮を受け隊員を統率して勤勞に從事せしめ隊員の訓練に當る

二、隊員は都道府縣單位の結成に在りては都道府縣內の官公署、公共團體、會社、工場、鑛山、事業場、交通運輸業者、農業者、商業者、其の他の團體又は個人に對し勤勞隊の結成を命ずる者の指揮を受け隊員を統率して勤勞に從事せしめ隊員の訓練に當る

三、隊員は都道府縣單位の結成に在りては都道府縣內の官公署、公共團體、會社、工場、鑛山、事業場、交通運輸業者、農業者、商業者、其の他の團體又は個人に對し勤勞隊の結成を命ずる者の指揮を受け隊員を統率して勤勞に從事せしめ隊員の訓練に當る

生活援護共助金
補助の限度對象を擴張

【東京發】厚生省では國民勤勞報國協力令の實施に伴ふ生活援護共助金の支給に關し從來の生活援護共助金に關する取扱方を改正することとしたが、一般生活援護共助金に關する改正の要點は次の如くである

一、本補助金による生活援護共助金の支給は從來の取扱方を改めて左の場合に限り之を行ふこととすること

一、本補助金による生活援護共助金の支給は從來の取扱方を改めて左の場合に限り之を行ふこととすること

一、本補助金による生活援護共助金の支給は從來の取扱方を改めて左の場合に限り之を行ふこととすること

標識無視、不法爆撃
敵機の暴虐ぶえのすあいれす丸船長談

【ブエノスアイレス二十七日發同盟】ブエノスアイレス港に入港したアルゼンチン船籍ブエノスアイレス丸（一萬一千噸）船長ルイス・ルーベン・ロペス氏は二十七日午前十時半ブエノスアイレス港に入港したが、同船長は語る

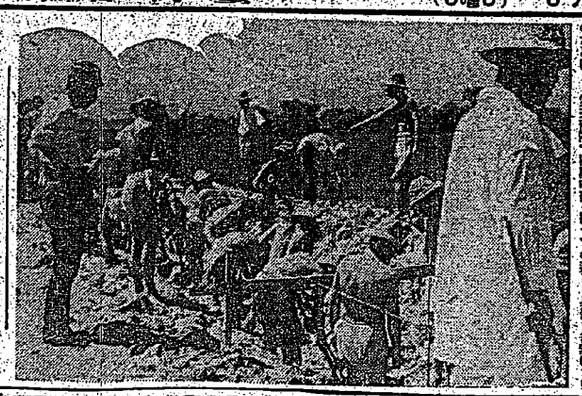
【ブエノスアイレス二十七日發同盟】ブエノスアイレス丸船長ルイス・ルーベン・ロペス氏は二十七日午前十時半ブエノスアイレス港に入港したが、同船長は語る

重慶空中戰
我荒驚達に聽く

【ストックホルム二十七日發同盟】重慶發ロペック電によれば重慶における米國人ロペック氏は二十四日

戰友の武勳偲びつつ 圓匙揮ひ聖域建設

第三部隊將兵熱汗奉仕



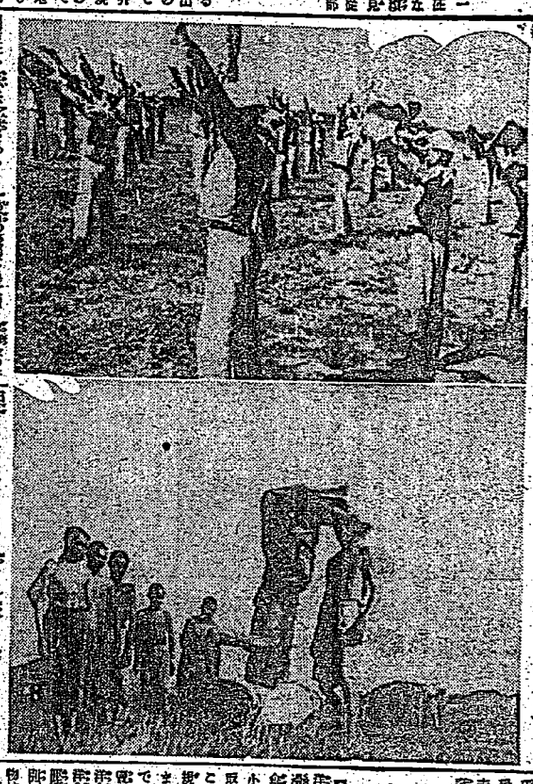
陣頭指揮のもと部隊ごとに一つ一つ石を運び上げられた記念碑の土臺

潮風に"師魂"研磨

基隆郡 學校長錬成會開かる

高砂部隊を訪ふ

二〇〇〇哩の彼方から



洋傘の規格、價格改訂

女物晴雨兼用は約五分の値下り

皇軍進駐を待つ

潮洋地區の鄉長懇願

寸土惜み聖鍬勤勞

臺東廳職員ら近く着手

勤勞者に健全書籍

日本出版會で近く配給

冷靜寃ら深山の湖

綽々たる經濟生活

——比島視察團日本印象——

醫術發展の餘地多し

野村博士 佛印の醫學界視察談

男兒出生記念に獻金

海軍武官府に拾ふ赤誠醬

被抑留同胞への救恤金募集

開かれぬ國語演習會

決戰態勢に不急行事として整理

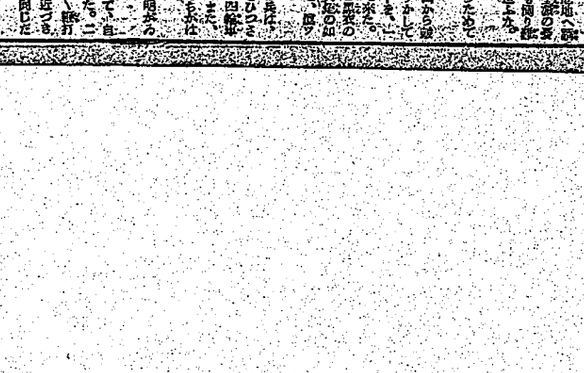
臺北市奉壯團 月例幹部會

歌唱奉仕隊を結成

臺中州下支會分會に慫慂

積極的に女子青年隊を錬成

海軍志願兵の豫備訓練開始



後二國志 (189)

(田師の卷)

吉川英治作 矢野龜村畫

今日の番組

明朝の番組

（第二種）（郵便物認可）　昭和十八年八月二十九日　（日曜日）　臺灣日日新報　第一万五千五百六十二號　（二）

臺灣新民

日本決戦下の大東亜共栄圏の指導的新聞

壯烈アッツ島に玉砕

山崎部隊に感状

畏くも上聞に達せらる

【東京發】米軍撃滅に挺身したアッツ島守備山崎部隊に対し二十八日午後三時宮中において感状の授与式が行はれ山崎部隊長代理青木大東亜相より感状を授与された山崎部隊長代理は感激に満ちた面持ちで感状を拝受した感状は次の通り

感状

山崎部隊

在アッツ島米軍中佐指揮の下優勢なる敵兵力の上陸に対し克く之を撃攘して敵軍司令官ヒラリーアッツ島の陥落に任じて昭和十八年四月十七日山崎保代大佐を迎へて同島の指揮官に任ずるや爾来一貫敢然敵の上陸に対し時に逆襲を加へ

昭和十八年十二月八日（水曜日）　八千五百二十一　朝日新聞

自覚と責任

大東亜戦争一周年を迎へて

国民皆兵の本義

戦争完遂の切実性

各人各様の奉公

国民総力の結集

戦争指導の強化

戦争経済の飛躍的発展

科学技術の総動員

思想戦の徹底的強化

大東亜共栄圏の確立

大東亜戦争の完遂

戦争完遂の基本方策

大東亜戦争一周年を迎へて

日本答訪泰國外相

實地に軍事教練

親善の旅終へ盤谷歸着

臺大生二百名、三日入營

◇一行の陸に上るや先づ國旗に敬禮

【バンコク二十八日發同盟】泰國外務大臣ビブート・ワダカン殿下の御招待による日本國外務大臣東條英機閣下の泰國御訪問の御日程は二十八日午前十時半バンコク驛御發列車にて盤谷驛御着、同驛頭に於ける泰國側の歡迎式典を終了、直ちに自動車にて宿舎ヤワラート宮殿に入られた、尚東條大臣一行の泰國滯在中の御日程は次の如くである

二十九日　午前九時半　ワット・ポー寺院參拜
午後一時　ワット・ベンチャマボピット寺院參拜
三十日　午前九時　ワット・プラケオ寺院參拜
午後一時　ワット・ラチャプラディット寺院參拜
三十一日　午前九時　ワット・ボーウォラニウェート寺院參拜
午後一時　ワット・スタット寺院參拜
九月一日　午前九時　ワット・ラチャボピット寺院參拜
午後一時　ワット・マハタート寺院參拜

【バンコク二十八日發同盟】東條大臣御一行は二十八日午後一時半バンコク驛御發のタイ國鐵の特別列車にて盤谷驛に向ひ、午後四時半盤谷驛に到着した、同驛頭には泰國側よりワンワイット外相一行を始め軍關係、政府關係者多數出迎へた

【バンコク二十八日發同盟】東條大臣御一行は二十八日午後一時半バンコク驛御發のタイ國鐵の特別列車にて盤谷驛に向ひ、午後四時半盤谷驛に到着した、同驛頭には泰國側よりワンワイット外相一行を始め軍關係、政府關係者多數出迎へた

盟邦泰外相迎へて

長谷川總督歡迎晩餐會

泰國外務大臣ビブート・ワダカン殿下には今般東條英機閣下の御招待により大東亞戰爭の現段階に於ける日泰兩國の緊密なる關係に關し懇談を遂げられんが爲め來朝せられたのであるが、今回の御來朝は日泰兩國の關係が愈々緊密化しつゝある現段階に於て兩國の關係を一層緊密ならしめ、以て大東亞戰爭の完遂に資せんとするものであつて、兩國の關係者は勿論、全國民の等しく欣快とするところである

泰國外務大臣ビブート・ワダカン殿下には今般東條英機閣下の御招待により大東亞戰爭の現段階に於ける日泰兩國の緊密なる關係に關し懇談を遂げられんが爲め來朝せられたのであるが、今回の御來朝は日泰兩國の關係が愈々緊密化しつゝある現段階に於て兩國の關係を一層緊密ならしめ、以て大東亞戰爭の完遂に資せんとするものであつて、兩國の關係者は勿論、全國民の等しく欣快とするところである

長谷川總督は二十八日午後七時半より盤谷ヤワラート宮殿に於て泰國外務大臣ビブート・ワダカン殿下、東條英機閣下を始め日泰兩國の政府、軍關係者多數を招待して晩餐會を催した

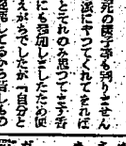
長谷川總督は二十八日午後七時半より盤谷ヤワラート宮殿に於て泰國外務大臣ビブート・ワダカン殿下、東條英機閣下を始め日泰兩國の政府、軍關係者多數を招待して晩餐會を催した

◇泰國外務大臣ビブート・ワダカン殿下（中央）東條英機閣下（右）

◇泰國外務大臣ビブート・ワダカン殿下（中央）東條英機閣下（右）

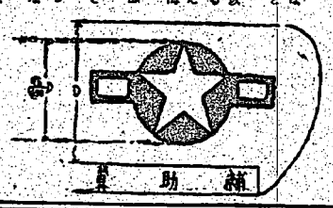
ガダルカナルに散る

祖父江伍長



陸軍機は赤枠つき

米國軍用機の標識變る



模範防空群決る

舟艇驅つて側面奇襲

殊勲・小林船舶工兵部隊

風雅な武人

渡邊中佐

靈魂・全戰域に鎮護

決戰の一年に

男性神經衰弱

貯蓄動員本部幹事會を開く

異風雨災害義捐金（十九）

第九期決算報告

今日の映畫

告

臺灣輕輪交通株式會社

デルビーは慢性胃腸藥

臺灣ゴム株式會社

臺灣産業資源株式會社

臺灣拓殖株式會社

臺灣電氣興業株式會社

臺灣電力株式會社

臺灣電線製造株式會社

臺灣鐵道株式會社

臺灣土地建物株式會社

臺灣倉庫株式會社

臺灣銀行

臺灣證券交易所

臺灣合同運船株式會社

臺灣海運株式會社

臺灣航空株式會社

臺灣製糖株式會社

臺灣製鹽株式會社

臺灣製麻株式會社

臺灣製鐵株式會社

臺灣製藥株式會社

臺灣造船株式會社

臺灣鑛業株式會社

臺灣化學工業株式會社

臺灣肥料株式會社

臺灣農林株式會社

臺灣畜産興業株式會社

臺灣興業株式會社

臺灣振興株式會社

臺灣海運株式會社

臺灣航空株式會社

臺灣製糖株式會社

臺灣製鹽株式會社

臺灣製麻株式會社

臺灣製鐵株式會社

臺灣製藥株式會社

臺灣造船株式會社

臺灣鑛業株式會社

臺灣化學工業株式會社

臺灣肥料株式會社

臺灣農林株式會社

臺灣畜産興業株式會社

臺灣興業株式會社

臺灣振興株式會社

將兵と共に猛訓練
皇軍精神を體得
臺南州中等教員一行歸校

【臺南電話】皆さまにお待ちかねの臺南州中等教員一行の皆さまは、去る十三日から四週間に亘つて同胞錬成の重責を負ひ、高砂族の住む霧社の山奥に入り、原住民の皆さまと寝食を共にしながら、皇軍精神の體得に努めて参りましたが、二十九日午後一時半、元気一杯、勇ましい姿で歸つて参りました

【霧社】原住民の方々と四週間も寝食を共にしながら、皇軍精神の體得に努めて参りましたが、本當に夢の様な四週間でした、山奥の事とて、何一つ娯楽もなく、毎日毎日、山の様な仕事に追はれ、時には、ほんとに泣きたくなる様な事もありましたが、今から考へますと、それも皆、懐かしい思ひ出となつて参りました

【霧社】今次大東亜戦争に際し、全島各地から、陸軍特別志願兵として、續々と入隊、皇軍の一員として、御奉公の誠を捧げてゐる、本島青年諸君の訓練は、各地とも、それぞれ、熱心に行はれてゐるが、霧社に於ける、訓練は、特に、山奥の事とて、一般の訓練の外に、原住民の皆さんと、寝食を共にしながら、皇軍精神の體得に努めてゐる、今回、臺南州中等教員一行の、訓練は、その第一回目として、去る十三日から、四週間の豫定で、霧社に於て、行はれたが、一行は、二十九日午後一時半、元気一杯、勇ましい姿で、歸つて参つた

【霧社】霧社に於ける、陸軍特別志願兵訓練所では、去る二十日から、第二回目の、訓練を開始したが、今回は、臺南州下の、青年團員、百名が、入所、訓練を受けてゐる、尚、第一回目の、訓練を終つた、百名の、青年團員は、二十日、霧社を、出發、歸郷の、途に、就いた

【霧社】霧社に於ける、陸軍特別志願兵訓練所では